

山は一つも悪いことがない

山との出会い

出会いを感じることもなく生まれたときからそこにあるものとして山はありました。ただ上京してからも山を見ると気持ちが落ち着くということはある、それを実感したのは約8年前、屋久島での撮影です。山深い森の中で偶然一人になったときの身震いしてしまいそんな孤独感とそれ以上の何とも言えない心地良さを強く感じました。学校の校歌が「高良山」という山の名前から始まるくらい、常に身近に山・自然を感じながら生きてきたことを思い出す屋久島での体験でした。最近では東京近郊の山に年10回程度登っています。(ほとんど日帰りですが)私の山登りは地図を持ち朝5時頃出かけ駅でお弁当を買い、その日の目標の山に登り降りてくる。ひとりで登るときなどは頂上でのんびりするすることもなくまさにスポーツといった感覚ですね。それに山には自然の音もなく、鳥の声や沢の流れは音楽という仕事柄疲れている耳にとっても優しく届きます。

日本列島の真ん中には山が連なり、新幹線に乗っていると必ず車窓から山が見えます。外国人が「日本はこんなに自然豊かな国なのか?」ととても驚き聞いてきたときなどは、いつも見ている日本の自然の美しさを再確認し誇りに思います。

初めての八ヶ岳

昨年の夏、初めて八ヶ岳に泊まりで登り、そこに流れる雲は時間を忘れさせてくれました。景色を見ながら何も考えずぼーっとする時間を心地よく感じます。眼下を眺めれば険しい山道を登ってきた実感がふつふつと湧いてきました。本格的な登山はこの八ヶ岳が初めて

歌手 藤井 フミヤさん



でした。険しさもあるが初心者でも登れる優しさもある。そこで待ち構えている風景が心に深く刻まれていく。四季を通じてまた来たくなる「山」..少し足を伸ばせば登れる「山」..ふと時間を忘れさせてくれる「山」..それが八ヶ岳なのかなと感じました。

私と山

なぜ私が山に登るのか?山には一つも悪いことがないんです。山に登ると自然に触れられるし、運動にもなる。目標とゴールがある。腹ぺこになって食べる食事は最高においしい。毒が抜けていく感覚があるし、ストレスの発散にもなる。自分自身を見つめる時間と空間が心を和ませてくれます。悪いことが何一つない山・自然が私は好きです。

山小屋のおやじから「フミヤ」さんへのメッセージ

今回このコラムに文を書いて貰うに当たりお逢いさせて頂きました。アーティストであり芸術家、少し気難しいのかな?と身構えていましたがとても気さくな方で、山の話を始めたら持参した地図を開き子供のような「キラキラ」した目をしながら八ヶ岳のルートをもっと細かく聞かれ本当に「山が好きなんだ」と感じました。約2時間でしたが時間が短く感じ、テレビの中の「フミヤさん」が本当に身近に感じる事が出来、楽しいひと時に感謝

FUJII FUMIYA

1962年7月11日、福岡県生まれ。歌手。83年、「チェッカーズ」としてデビュー。93年以降、ソロアーティストとして活動。



FOMAの「つながる」が
八ヶ岳に増えています。

マナーもいっしょに確認しましょう。

docomo



GOLDWIN INC. www.goldwin.co.jp/hellyhansen/ ☎0120-307-560 Phone:03-3481-7266